

安藤忠雄氏を表敬訪問

建設新聞 平成 28 年 10 月 20 日 掲載

招聘の建築・芸術海外研修生



安藤氏を囲んで海外研修生

訪問したもの。

招聘事業は、「国際建

築家賞」を受賞した安藤

氏が大阪府に寄贈した同

賞の副賞三千万円を基本

財産に、交流財團が海外

で建築などを専攻してい

る若者を大阪に招き、企

業研修などを通じて日本

の建築や歴史、文化等へ

の理解を深め、母国と日

本・大阪との友好の架け

橋となることを目的に平

成五年度から毎年、実施

されており、昨年度まで

に一九カ国、〇九人を招

聘している。

今回来訪したのはイン

ド、インドネシア、タイ、

中国、ネパール、バング

ラデシュ、フィリピン、

ベトナムからの八カ国八

人の学生などで、研修生

は、ホームステイなどを

しながら、受入先企業で

自分の建築をどうつくる

かだ」とアドバイスを

えながら、時代に沿って

建築をつくることを考

えた。研究室見学のほか、安

藤氏設計の建築物視察を

ままで。

行つてきた。

懇談では、研修生から

アジアをはじめ海外と日

本の建築の違いや安藤氏

が設計を始めた当時と現

在の建築を取り巻く環境

の変化等を質問。建築を

取り巻く環境の変化につ

いて安藤氏は、「現在で

は建築とビジネスがセッ

トになっている」とし、

が設計を始めた当初は、良

い建築を創るために懸命

に仕事をしてたとしな

がら、「今は世界中で建

築が投資の対象になら

う」と指摘。

また、アジアの建築に

ついては、「難しい時代

だが、ビジネスと関連し

て多くの建物は出来てく

るだろうが、それでも良

い建築をつくることを考

えた。研究室見学のほか、安

藤氏設計の建築物視察を

ままで。

なお、招聘期間は九月

二十三日から十月二十日

大阪府国際交流財團による「大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業」により来日した研修生一行が十四日、大阪市北区の安藤忠雄建築研究所に訪れた。所長の安藤忠雄氏と懇談した。研修生は九月二十日に来日し、それぞれの受入企業で研修を行っているが、今回招聘事業に賛同する安藤氏を表敬